

スーパーグローバル大学等事業 経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援
中間評価結果

大学名	同志社大学
申請区分	タイプA：全学推進型

◇経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援プログラム委員会における評価（公表用）

(総括評価) A	<p>これまでの取り組みを継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。</p>
<p>(コメント)</p> <p>本事業は、最終年度において留学を含む教育実践取組による「留学型」1,800名、国内にしながらグローバル人材と成り得る教育を実践する取組による「国内型」1,200名のグローバル人材育成を目指す取組であり、概ね順調に展開されていると判断できる。</p> <p>特に、学生の主体的な学習が重視されるグローバル人材育成において、「“Go Global”ポートフォリオ」の導入は適切なものであり、また大学にアウトカムの明示が求められることについては、「Doshisha “Go Global” Passport」がそれに対応し、公式な成績証明書にも記載されるなど、一つのモデルになる施策と思われる。有効に活用し、その成果を公表することを期待する。</p> <p>また、英語力の向上については、「Intensive Courses for TOEFL」(I.C.T.)のクラスの総定員数を平成25年度から平成26年度に倍増させ、正課外のTOEFL対策講座のクラス数も増設するなど、学生のニーズを正しく把握し対応がなされていることも評価できる。</p> <p>しかしながら、これらの施策は開始されて間もないものも多く、まだ十分に結果に反映されていないところも見受けられる。英語力の向上のみならず、グローバル化に対応する教養やスキルを十分に学ぶことができるように、学びの場として設置されているラーニング・コモンズを有効に活用し、個人の主体的な学びに応えるサポートスタッフの増強や学生同士が学び合う環境作りについて更なる努力が必要である。</p>	